

会 議 録

会議の名称	第1回本庄市子ども・子育て会議
開催日時	平成29年3月27日(月) 午前10時30分から 午前11時50分まで
開催場所	本庄市役所 504会議室
出席者	谷田委員、野田委員、相川早和子委員、都丸委員、中原委員 根岸広幸委員、遠山様(荒木委員の代理)、根岸和幸委員、八本委員、上野委員、田邊委員、日向委員 事務局：駒沢福祉部長、津久井課長、加藤補佐、卜部補佐、春日主任
欠席者	新井委員、落合委員、富沢委員、相川洋二委員、上原委員、
議題 (次第)	1 開会 2 副委員長あいさつ 3 議事 (1) 本庄市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度事業の進捗について (2) 本庄市子ども・子育て支援事業計画に関する中間年の利用見込みの見直しについて 4 その他 5 閉会
配付資料	1 会議次第 2 座席表 3 本庄市子ども・子育て会議委員出欠席名簿 4 本庄市子ども・子育て支援事業計画概要版 5 資料1 本庄市子ども・子育て支援事業計画実施状況(平成27年度) 6 資料2 本庄市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて
その他特記事項	
主管課	福祉部子育て支援課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (津久井課長)	(開会あいさつ)
日向副委員長	(副委員長あいさつ)
事務局 (津久井課長)	<p>では、ここで、会議の成立についてご報告をさせていただきます。</p> <p>本会議は、本庄市子ども・子育て会議条例第6条第2項で、委員の過半数の出席がないと開くことができないとされております。本日は、荒木委員、新井委員、落合委員、富沢委員、相川洋二委員、上原委員が、所用のためご欠席というご連絡をいただいております。荒木委員の代理として、遠山様にご出席いただいております。したがいまして、本日の会議は、17名中11名の委員の皆様のご出席となりますので、定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、この後の議事につきましては、日向副委員長に議長となつていただき、進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
日向議長	<p>委員長が今日は欠席でございますので、私が議長を務めさせていただきます。</p> <p>議事(1)本庄市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度事業の進捗について、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局 (ト部補佐)	<p>では、私から、議事(1)の「本庄市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度事業の進捗について」ご説明申し上げます。</p> <p>28年度も終わり頃ですが、27年度の実績をもう少し早くご報告できればよかったです。この時期になってしまったことをお詫び申し上げます。間もなく28年度が終わりまして、29年度が始まりますことから、28年度は確定ではありませんが実績見込みについて、また、29年度の計画についても必要に応じて説明を加えさせていただきます。</p> <p>(資料1に基づいて説明)</p>
日向議長	ただいま事務局から説明がありました議事(1)について、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。
谷田委員	乳児家庭全戸訪問事業と養育支援訪問事業の人数は月の人数ですか。

事務局 (ト部補佐)	年間的人数です。
谷田委員	月の人数だと非常に多いので、保健師が足りているのかなと思ったものですから。では、非常に負担があつて大変だということではなくできていると認識しておいてよいでしょうか。
事務局 (ト部補佐)	はい。
日向議長	他にご質問がありましたらお願いします。
田邊委員	ショートステイ事業は何名かの利用があるようですが、どのような理由でどの年齢の方が利用されたのかということと、ファミリー・サポート・センター事業の送迎は車による送迎もあるのか。それと、一時預かり事業ですが、公立の保育園では利用者が多すぎて、リフレッシュが理由の場合はお断りする傾向にあると伺ったのですが、本庄市としてはリフレッシュ的な利用もOKとしているのか、そうでない人を優先しているのかということと、あと、病児保育の委託が新たに始まるのということで大変嬉しく思いました。
事務局 (ト部補佐)	まず、ショートステイ事業ですが、利用されるお子さんの年齢は、未就学児で3歳から5歳くらいの方が多いです。利用の理由ですが、28年度の例としては、お母さんが一人で子育てしているご家庭で、頼れる人もいないということで、そのお母さんが体調が悪くなったということで宿泊を伴って預けた例がございました。 あとは、お母さんが精神的に疲れてしまって、預かってほしいということもありましたし、仕事の関係で日曜日に預かってほしいということもありました。 次に、ファミリー・サポート・センター事業の車の送迎ですが、車の送迎もやっております。
事務局 (加藤補佐)	次に、一時預かり事業ですが、公立の保育所でリフレッシュ目的の利用は認めております。ただ、人数に制限があるという条件の中で、予約をされている方ですとか緊急性を見極めてお断りする場合もあったかと思えます。
日向議長	他にご質問ございますか。
上野委員	ファミリー・サポート・センターについてお聞きしたのですが、今現在、利用できるお子さんは小学生までとお聞きしているのですが、中学生まで拡大する予定はないのですか。
事務局	今のところ中学生までに拡大という予定はございません。援助

(卜部補佐)	<p>したいという人と援助してほしいという人がお互い会員になって行う事業で、援助できますという人をいかにたくさん確保できるかということに努力しなければならないところですが、確保できれば対象者や条件を緩和することを検討しなければいけません、今のところ予定というのはございません。</p>
都丸委員	<p>ファミリー・サポート・センターの会員をやっているのですが、特別な事情があれば相談によっては中学生も対応しています。</p>
上野委員	<p>今、6年生の子で利用されている方がいて、中学生になったらどうしようというのを聞いていたので、どうなのかなと思ひまして。</p>
都丸委員	<p>まずは、相談してください。</p>
上野委員	<p>わかりました。</p>
日向議長	<p>それでは、他の方もご質問がございましたらどうぞ。</p>
根岸委員	<p>利用者支援事業ですが、29年度中に子育て支援課内に支援員を配置予定となっていて30年度までに2か所で実施予定と聞いていますが、今後の予定を聞かせていただきたいのと、病児・病後児保育の休日保育的なものはあるのですか。それと併せて休日保育事業も2ページ目(資料1)に今後検討すると書いてあるのですが、そのことも聞かせてください。</p>
事務局 (卜部補佐)	<p>利用者支援事業ですが、29年度から開始して子育て支援課に支援員を配置と言うことで、当初は本庄地域と児玉地域に配置できればいいなと考えておりました、児玉地域ですとアスピアこだまに児童センターがありますので、そういう所や保育所という可能性もあるのですけれども、具体的にここに配置しますというところまでは計画が見えておりません、29年度の実施もどのように実施していけるか見極めたいうえで、30年度の判断をさせていただきたいと考えております。</p>
事務局 (加藤補佐)	<p>私からは休日保育の検討についてお話させていただきます。29年度から病児保育を実施しますふくしまキッズ保育園は、認可外の時代から休日は月に2、3回、看護師さんの勤務に合わせて休日保育を行っておりました。</p> <p>現在も月に2、3回休日保育を行っており、病児保育の対応、また、一時預かりとして休日の預かりもさせていただいているところでございます。</p>
日向議長	<p>他にご意見ございますか。</p>
野田委員	<p>一時預かり事業に関してですが、保育園は公立が2園、私立が6園ということですが、もう少し一時預かりをしてくれる保育園</p>

	<p>が増えてくれればよいと思うのですが、声かけはしていただいているのですか。</p>
事務局 (ト部補佐)	<p>やっただけの保育園があれば委託したいと考えていますが、特別強く声かけしていないのですが、一時預かりだけではないのですが、事業を実施していない園には、事業実施を検討していただくなどの対応をしていきたいと思います。</p>
日向議長	<p>他にご質問がございましたらお願いします。 ご意見がなさそうなので、議事(1)は終わらせていただきます。 それでは、議事の(2)に移らせていただきます。本庄市子ども・子育て支援事業計画に関する中間年の見直しについて、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局 (加藤補佐)	<p>それでは私からは、子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて、資料の順を追ってご説明させていただきます。 (資料2の1ページから5ページ及び事業計画概要版の6、7ページに基づいて説明)</p>
事務局 (ト部補佐)	<p>それでは私の方からは、事業計画概要版の7ページに(3)地域子ども・子育て支援事業というのがあるかと思いますが、それについての見直しの考えをご説明させていただきたいと思います。 (資料2の6ページから8ページ及び事業計画概要版の7ページに基づいて説明)</p>
日向議長	<p>それでは議事の(2)子ども・子育て支援事業計画の中間年の利用見込みの見直しについてご説明をいただきましたが、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。</p>
都丸委員	<p>地域子育て支援拠点事業で活動していると、そこに行きたくても行けない人もいます。支援センターを利用している人はいろいろな支援センターを利用して、情報も自分から得ていますが、そういう人ばかりではなく、参加することができない、自分で情報を得ることができない人もいます。数字だけでは見えてこない面もあるので、その辺も汲み取っていただければと思います。</p>
事務局 (ト部補佐)	<p>事業を知らないので行かないというのは、事業をPRすればよいことですが、そこに出かけて行けないという人は決して少なくないと思います。 子育て支援課では家庭児童相談事業もやっていますが、子育てに悩んでいる方には、こういう所があるよというご紹介もしていますし、また、27年度から始めたすくすくメール配信事業とい</p>

	<p>う、メールでメッセージを配信する事業があります。もともと、一人で孤立して子育てしている人に対してメッセージを投げかけるということから始まった事業なのですが、そこでも事業の紹介をしております、そこで少しでも気持ちが前向きになってくれればいいなと思っておりますので、すくすくメール配信事業などもうまく利用していきたいと思っています。</p>
日向議長	<p>他の委員さん、ご質問をお願いいたします。</p>
田邊委員	<p>2点あります。1点目は7ページ(資料2)の一時預かり事業ですが、29年度の見込み数を8,900人から2,900人に下げるということは、利用者が少なかったということですよ。お母さんたちにこの事業の話をする知らない方が大半で、または利用方法がわからない、一度登録しなければならないので緊急のときに間に合わないなどの話がよく出るので、どんなときでも預かってもらえるようにまずは登録をしてくださいというお話をさせていただくのですが、半数以上がこの事業を知らないというお答えだったので、せっかく素晴らしい事業があるので、もう少し認知していただけるようなことと、断わられるとその後、頼みにくくなってしまう人もいますので、例えばうちの園では今日はいっぱいですが、この園に連絡したらどうですかというご案内もうまくできればよいと思います。</p> <p>もう1点は、3ページです。29年度の見込みが148人から58人に減っているのは、0歳児の利用が少ないからだと思うのですが、1・2歳児と3歳児以上は増えていますが、現在のお母さんたちの状況をお話しますと、6ヶ月児とか8ヶ月児のときに職場復帰するお母さんが増えていまして、1歳前に預けるの?と聞くと、1歳になると入所できない可能性が高いので、0歳のときに預けますといった意見をお聞きしました。</p> <p>1歳になって預けられないと仕事をやめざるを得ないので、どうしてもやめたくない場合は、入所しやすい0歳児で入所させるという方がいました。</p> <p>そういう意味で1歳児を増やして、それほど需要がなかった0歳児を減らすのならかまわないのですが、お母さんたちはいつ保育園に入れるかすごく真剣に考えていますが、入れるかどうかの結果が出るのが職場復帰するかどうか考えるギリギリの時期になるので、不安な2月を過ごしています。だったら、年度途中で職場復帰した方がよいとかいろいろな噂が飛び交っている、現状がわかれば教えていただきたいと思っています。</p>
事務局	<p>一時預かり事業ですが、29年度から始める利用者支援事業の</p>

(卜部補佐)	中でご案内やPRをできればと考えております。
事務局 (加藤補佐)	<p>保育の入所についてですが、3ページの0歳児の見込みが減っているのは、利用がなかったということではなくて、アンケート調査をした結果で出した数字というのは、若干高めに出ていると思います。実際60人程度の入所となっておりますが、現在どこの園にも入れなくて仕事をやめたという声は聞いておりません。</p> <p>1・2歳児の需要が高いのはずっと変わっておりません。1歳では入所できないから0歳児のときから入る方もいらっしゃるかと思うのですが、実際入れないという方はいらっしゃいません。年度途中で入りたいという方の声をどのように受け止めたらいいかということについては、9月になれば入れますなどと言うことができないのが心苦しい限りですが、4月になれば入りやすい現状にはあると思います。</p> <p>今どこの園が空いているかの情報は、ホームページで公開しており、そちらを参考にさせていただくのが情報を得る今の方策となっているのですが、今後利用者支援事業を開始しまして、子育て支援課に支援員を配置できれば園の状況もお話できるのではないかと思います。</p> <p>資料の5ページを見ていただくと、市内保育園の定員と利用児童数の推移がありますので、こちらについても説明させていただきます。</p>
春日主任	<p>5ページのグラフについて、説明させていただきます。</p> <p>(入所者数、年齢別の利用児童数について説明)</p>
日向議長	他にご意見がございましたらどうぞ。
根岸委員	<p>いずれにしても5ページを見ていただくと、26年度から29年度の差が0歳児で20人、1歳児で約40人、2歳児では50人近くの入所数が上がっている中で保育園としても受け入れが困難な状況となっております。</p> <p>また、保育士不足というのもあります。都心部ではもっと待機児童の問題があって、保育士が都心部にみんな吸い上げられてしまって、この地域では保育士を雇いたいけれど雇えないといった状況にあります。</p> <p>1歳児は定員いっぱいになってしまって受けられない、0歳児は保育士が足りなくて受けられない。都心部になるとアパート代の支援をしていたり、保育士の給与を2万円上げるという話も出ていますが、地方ではなかなかできないのが現状です。そんな状況で保育士不足が非常に問題になっているという現状です。</p>

田邊委員	<p>3歳児、4歳児の受け入れが難しく、兄弟でも1・2歳児は入れるけれど、3・4歳児が入れなくて、兄弟で同じ園に入れなかったと言う事例が何件もあるので、確保できるような余裕があれば嬉しいと思います。</p>
事務局 (加藤補佐)	<p>市内の保育園は定員を超えて受け入れています。5ページの棒グラフは4月1日現在ですが、29年度は1,903人定員のところ1,979人の入所といった状況は定員を超えて保育園が預かっているというわけです。</p> <p>そういった状況を考えますと保育の受け皿が足りないのではないかと分析をしております、これから受け皿を増やして皆様の要望に応じていかなければいけないと考えております。</p>
田邊委員	<p>本庄市はなかなか認定こども園が進まなかったと思うのですが、認定こども園になってくれば、保育園に入れなかった子どもたちが救われるので、ぜひ本庄市内の幼稚園が認定こども園になってくれば、とお母さんたちは言っています。</p>
日向議長	<p>他にご質問、ご意見をどうぞ。</p>
野田委員	<p>現在私は保育士をしております、私が卒業したときは新卒で働き場所もあって、みんな働いていたのですが、結婚や子育てをした後、現場に戻っているという友達は3分の1くらいになっています。</p> <p>なぜ現場に戻らないかというと、給料が少ないとか短時間で働けないとか、子どもを保育園に預けられないということがありまして、現場に復帰する友達が少ないのもったいないなということと、認定こども園になった場合に、保育士資格と幼稚園教諭資格がないとなのですが、保育園で働いていた人は認定こども園だと幼稚園で働いていない人だと幼稚園教諭の資格の講座を受けないと働けないというのもありまして、もし認定こども園になったら更に働けないという人も出てくるのではないかと思います。</p> <p>希望する保育園に入れないというのも、希望する園で一時預かりをやっているならば、週3日でも預けられれば、2日はおばあちゃんや自分が仕事をなんとかして、空きがあればそのまま保育園に入りたいという希望もあるので、もっと一時預かりをやっていたらよと思います。</p>
事務局 (ト部補佐)	<p>先ほども一時預かり事業の園の増加というご質問をいただきましたが、今のお話をいただいて、実施する園の増加について努力させていただきます。</p>
日向	<p>ぜひ、保護者の願いを市としては受け入れていただいて、望み</p>

	<p>がかなえられるようにお願いしたいと思います。</p> <p>他にご意見がございましたらお願いいたします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、事務局からその他についてお願いします。</p>
事務局 (ト部補佐)	<p>ただいま見直しについてのお話をさせていただいたのですが、この後の計画の見直しのスケジュールについて簡単にご説明させていただきたいと思います。</p> <p>国の方からいただいている通知ですが、今申し上げた見直しの作業を行いまして、4月から6月でニーズ量の見直しに対してそれを確保する量の見直しを行います。秋から冬にかけて計画を改正する作業、年度末に計画の見直し作業の完了、こういったスケジュールで今のところ考えております。</p> <p>そういった見直しを行う際には委員の皆様にお集まりいただいて審議をお願いしたいと思っているのですが、現在の委員さんの任期が、公募の方以外は8月31日までとなっております、公募のお2人は12月31日となっております。</p> <p>8月31日の前までに審議をいただく機会が設けられれば、この皆さんにお願いしたいと思っておりますが、審議をいただく時期が流動的なので、また通知をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
日向議長	<p>事務局から今後の予定についてお話がございました。</p> <p>では、本日予定の議事については全て終了させていただきましたので、議長の役を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局 (津久井課長)	(閉会あいさつ)